



令和4年2月

座談会御書

一生成仏抄

* * 地区



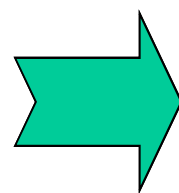
背景と大意

- ・建長7年 34歳御作
- ・対告衆：富木常忍（在千葉）
- ・一生成仏の根本をご教示
- ・唱題行の意義について
- ・生命練磨の日々で変革に挑戦



衆生と仏

迷い=>衆生
悟り=>仏



- ・隔てはない
- ・生命の変革

心の変革で成仏が可能
真の平等が実現する

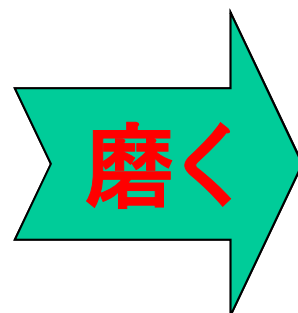
どうすれば生命の
転換ができるのか？



明鏡

一念無明の迷心を法性真如の明鏡に

苦悩の生命
磨かざる鏡



明鏡
悟りの生命

日夜朝暮に怠らず磨くべし



磨くとは唱題行

只 南無妙法蓮華經と唱へ

- 生命練磨の唱題行で拓け
- 勇気の心で無明との戦いを
- 弛み無き持続の信心こそ大切

朗々たる唱題で自身を練磨



指導より

- ・ **本当の決意**を込めた題目をあげよ
- ・ **題目**こそ最極の**勝利の利剣**である
- ・ **唱題**は、まず**挑戦**の心が大切
- ・ **題目第一**の人こそが、真の**勇者**

生命変革の唱題行に徹し
絶対の幸福境涯を築こう